

報告書の骨子案

事務局

第2回会合までの検討の概況

□ 各周波数帯別の条件・検討対象及び検討の概況

【5150-5250MHz】

- 現在の条件等：屋内利用に限定
- 共用検討対象：移動衛星（現状ではGlobalstarのみ）



- ・ Globalstarに対する与干渉を試算
⇒ 登録局制度の活用により、屋外利用の可能性あり

【5250-5350MHz】

- 現在の条件等：DFS具備、屋内利用に限定
- 共用検討対象：気象レーダー、地球探査衛星



- ・ 気象レーダーに対する与干渉を試算
⇒ 6kW以上の固体素子レーダーに対してDFSの具備により共用可能性あり
- ・ 地球探査衛星への与干渉を試算
⇒ 登録局制度の活用により、屋外利用の可能性あり

【5350-5470MHz】

- 現在の条件等：未割当
- 共用検討対象：気象レーダー、地球探査衛星



- ・ 未検討

【5470-5725MHz】

- 現在の条件等：DFS具備、上空利用は航空機内に限定
- 共用検討対象：各種レーダー（船舶、航空）等



- ・ 高層位置でDFS動作試験を実施
- ・ JAXAレーダーに対する与干渉を試算
⇒ DFS機能により、上空利用の可能性あり

【5725-5850MHz】

- 現在の条件等：未割当
- 共用検討対象：DSRC（ETC）



- ・ 技術試験事務による共用検討を実施中

【5850-5925MHz】

- 現在の条件等：未割当
- 共用検討対象：FPU

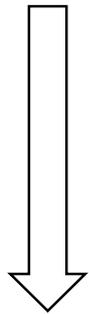


- ・ 検討未了

第2回会合以降の状況変化等による検討の方向性の見直し

□ 国際動向

【状況変化等】



- WRC-19 議題1.16 「5150–5925MHz帯におけるWAS/RLANの使用」への対応
決議239(WRC-15)のうち5150MHz～5350MHz関連の抜粋
「5150MHz～5350MHz帯におけるWAS/RLANの屋外利用の可能性の研究を行うこと」

【検討の方向性の見直し】

- WRC-19において議論がまとまるまでの間、全般的な共用は困難
 - ・ 第1段階＝「概ね、2020年オリ・パラやWRC-19による結論が示されるまでの限定的なものとして位置付け」
 - ・ 第2段階＝「WRC-19の結論等を踏まえ、第1段階以降に必要な応じて見直す」

第2回会合以降の状況変化等による検討の方向性の見直し

□ 技術試験事務(5250-5350MHz)

【状況変化等】

○ 予想:DFS動作は、主として受信レベルが支配的

- ・ 市販無線LAN(アクセスポイント)の実力値の実測したところ、現行規定値よりも3~12dB低い値でも検出可能
- ・ パルス幅の変化だけでなく、様々なパルスパターンも加味して実測したところ、パルス幅とパルス繰り返し周波数の組み合わせにも依存

【検討の方向性の見直し】

○ 平成28年度

屋内試験結果:DFS動作は受信レベルよりもパルスパターンが支配的

- ・ 平成29年度調査検討(屋外実証試験)の結果を踏まえることが必要

WRC-19に向けた検討状況を踏まえて対応

第2回会合以降の状況変化等による検討の方向性の見直し

□ 各周波数帯別の状況変化及び検討の方向性の見直し

【5150-5250MHz】

- 状況変化等: WRC-19において屋外利用解禁が検討中



- ・ 第1段階
⇒ 登録局制度の活用により、屋外利用を期間・場所限定で開放
- ・ 第2段階
⇒ WRC-19における屋外利用の検討結果を踏まえて見直し

【5250-5350MHz】

- 状況変化等: 技術試験事務においてDFS動作の確認を実施中



- ・ 平成29年度技術試験事務による検討結果を受け、審議再開
- ・ WRC-19に向けた検討状況を踏まえて対応

【5350-5470MHz】

- 状況変化等: WRC-19において検討中



- ・ WRC-19に向けた検討状況を踏まえて対応

【5470-5725MHz】

- 状況変化等: ロボット用周波数帯の制度化
(平成28年8月)



- ・ ロボット用周波数との共用検討が必要

【5725-5850MHz】

- 状況変化等: なし



- ・ 技術試験事務による共用検討結果を受け、審議再開

【5850-5925MHz】

- 状況変化等: なし



- ・ 検討未了